



防災ジオツアー

イシ・イジ - 石・意志・遺史・維持

2016年12月11日(日)

午前10時～午後3時30分(受付開始 午前9時30分) / 小雨決行

予定コース

和歌山県土砂災害啓発センター駐車場(集合) → 和歌山県土砂災害啓発センター
 → 井関の紀伊半島大水害記念碑 → 源道橋付近 → 金山谷の土砂災害現場
 → 金山谷2号堰堤と溪流保全工 → 昼食(地元食材を利用したお弁当) → 鳴子谷堰堤
 → ジオサイト「那智の滝」 → 和歌山県土砂災害啓発センター(解散)

集合・受付: 土砂災害啓発センター駐車場(和歌山県那智勝浦町市野々 3027-6)、9:30分受付開始

参加費: 1,300円(弁当代+お茶代実費)

募集人数: 20名(先着順)

申込締切: 12月5日 17:00迄

申込・問合せ先: **和歌山大学災害科学教育研究センター**

Tel: 073-457-7558 FAX: 073-457-7593

E-mail: bousai@center.wakayama-u.ac.jp

主催: 和歌山大学災害科学教育研究センター、国土交通省近畿地方整備局

共催: 南紀熊野ジオパーク推進協議会

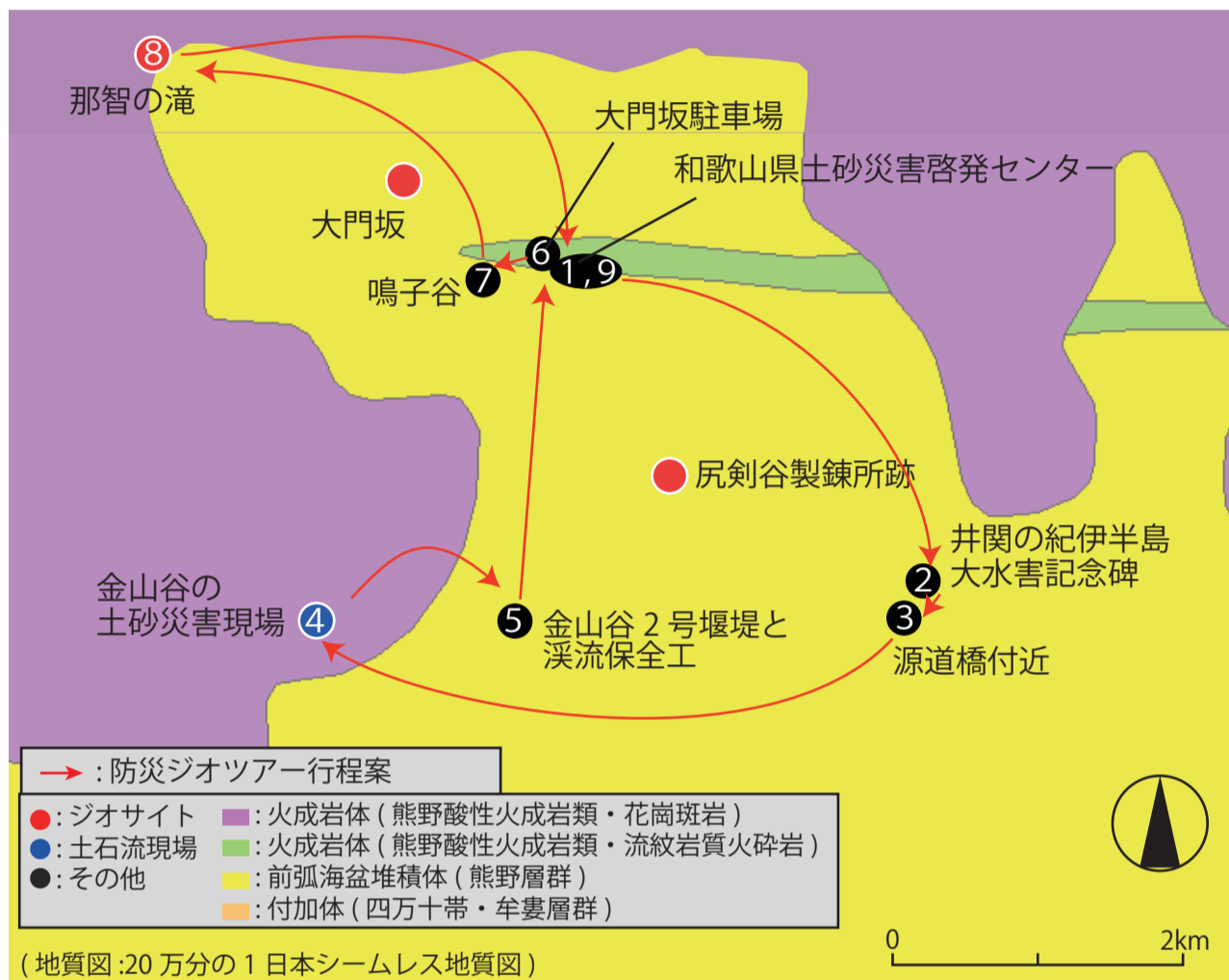
後援: 和歌山県、那智勝浦町、和歌山県教育委員会、那智勝浦町教育委員会、南紀熊野ジオパークガイドの会

本ツアーは、和歌山大学運営費交付金(災害科学)のプロジェクトの一環で実施しています。

ツアーの概要

平成23年9月の台風12号によって、紀伊半島では大規模な斜面崩壊、土石流、洪水などが多数発生し、甚大な被害を受けました。今回の防災ジオツアーでは、「イシ（石・意志・遺史）」と「イジ（維持）」をテーマに和歌山大学災害科学教育研究センターと「想定外」豪雨による地盤災害への対応を考える調査研究委員会（地盤工学会、日本応用地質学会、関西地質調査業協会、中部地質調査業協会合同研究委員会）の調査研究により得られた成果や国土交通省近畿地方整備局の防災対策（砂防堰堤）について担当者から直接現場で話を聞くことができます。自然の脅威だけでなく土地の成り立ちや備えについても同時に学び、災害や地域の歴史を正しく理解することで、今後の地域防災について共に考える機会とします。

防災ジオツアーのコース



時間(目安)	行程
09:30	土砂災害啓発センター駐車場 受付開始
10:00	① 土砂災害啓発センター
10:15	② 井関の紀伊半島大水害記念碑
10:20	③ 源道橋付近
10:25	④ 金山谷の土砂災害現場
10:55	⑤ 金山谷2号堰堤と溪流保全工
11:30	⑥ 大門坂駐車場
12:00	(昼食・トイレ休憩)
12:10	⑦ 鳴子谷堰堤
12:50	⑧ ジオサイト「那智の滝」
13:00	⑨ 土砂災害啓発センターでまとめ
13:30	解散
13:40	
14:30	
14:45	
15:10	
15:20	
15:30	

※ 当日の状況によって一部時間・コースが変更になる場合がございます。

- 日時：12月11日（日）午前10時～午後3時30分頃（受付開始：午前9時30分）
- 集合場所：和歌山県土砂災害啓発センター駐車場（和歌山県那智勝浦町市野々3027-6）
- 参加申込方法：お申込みされるかた全員の氏名・性別・年齢・住所・電話番号（当日連絡がつくもの）食べ物アレルギーの有無をお知らせください。
※ お知らせいただいた個人情報は、イベント参加への対応および確認のみに利用します。また、この目的のために参加申込の記録を残すことがあります。
- 申込先・問い合わせ先 和歌山大学災害科学教育研究センター
tel：073-457-7558、fax: 073-457-7593
mail：bousai@center.wakayama-u.ac.jp
- 服装・持ち物：歩きやすい服装(暖かい服装)・靴(一部、足元の悪い場所を歩きます)、飲み物など

※ 小雨決行。ただし、災害や悪天候等により中止することがあります。中止の場合には前日までにご連絡いたします。行程の関係上、昼食時間が少し遅くなっておりますのでご注意ください。行動中の事故や急病にはできる限り対応をいたしますが、健康管理、安全面には各自十分ご留意の上、ご参加ください。また、万一に備えて国内の旅行傷害保険には加入しますが、これを超える賠償責任は負いかねますこと、予めご了承ください。

電車でお越しの方

JR紀伊勝浦駅前から熊野交通バス那智山行き
9:30 発 → 9:49 大門坂駐車場で下車

自家用車でお越しの方

熊野那智大社を目指してお越しください。

集合場所（土砂災害啓発センター）に隣接する大門坂駐車場にも駐車できます。



当日の集合場所